

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 2 年 11 月 15 日

アンケート期間:令和 2 年 10 月 20 日～令和 2 年 11 月 10 日

事業所名 発達支援室ふきの塔 保護者等数(児童数) 47 回収数 32 割合 68%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	6	3	4	高学年で体も大きくなり 教室が少し狭いと感じ る。	以下1番に記載
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	1		4		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	6	6	3		以下2番に記載
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	31			1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	27	2		3		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	5	15		以下3番に記載
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	1			以下4番に記載
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	8	9	12		以下5番に記載
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18			14		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	2	1	2		以下6番に記載
	14 個人情報に十分注意しているか	30			2		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	1		1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27			5		

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	7	2		以下7番に記載
	18	事業所の支援に満足しているか	31	1			

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者の皆様へ

日頃は当事業所の療育支援にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。
 評価表をまとめ、皆様から頂きましたご意見への回答と今後の対策を記しましたのでご一読ください。尚ご不明な点がありましたら職員にお尋ねください。お忙しい中評価表の記載をして頂きありがとうございました。感謝の言葉も頂戴しとても嬉しく思います。今後もなお一層気を引き締めて取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

番号	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	高学年で体も大きくなり教室が少し狭いと感じる。	活動内容に応じて家具を移動させるなどの工夫をし、子ども達が安全に過ごせるスペースを確保するよう努めていきます。
2	スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮について。	階段には手すりを付けていますが事業者は2Fにあるためご不便をおかけすることもあると思います。お困りの際は職員にお声がけいただき、不自由なく利用していただけるように対応させていただきます。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会について。	コロナ禍において子ども達の生活や集団で過ごす上での制約、注意すべきことが増え、行動を制限することも増えました。現状、不特定多数の人との交流を避けて行動が把握できる範囲での活動になっています。支援内容として必要と考えられる子どもさんは保護者の方と相談の上、交流の機会を検討させていただきます。
4	支援の内容、利用者負担等についての説明について。	送迎時にお話させていただくことが多く、説明が不十分であったと重く受け止めています。どんな些細な事でも構いませんので職員にお声がけください。改めて時間を設けることもできますが、その場でどんなことでも聞いていただけるような雰囲気を作りたいと思います。
5	父母の会、保護者会等の開催等による保護者同士の連携について。	公的な活動、支援の案内なども今年度は少なく、今まで実際に定期的に開催されてきた会も中止されている現状です。ふきの塔では感染症対策にご協力いただきながら療育の見学や同席を再開したところですので、学年別グループでの親の会などの集まりも現在検討中です。年明け、年度末で開催する方向で検討しています。
6	会報やホームページ等での、活動概要等の発信について。	年4回(春夏秋冬)ふきの塔だより発行を継続し、内容の充実を図るよう努めていきます。
7	子どもは通所を楽しみにしているかについて。	苦手なこと、困難なことを克服するための訓練指導を行う場所でもあり通所に難色を示すお子様も見えます。来るときは洪々であっても、帰る時には少しでも充実感、達成感が得られるよう、子ども達との関わり方を大切にしていきます。